



葛 飾 区

緑とオープンスペース基本計画

すてきです！

せせらぎ やすらぎ 豊かな緑

葛 飾 区

葛 飾 区

緑とオープンスペース基本計画

すてきです！
せせらぎ やすらぎ 豊かな緑

葛 飾 区

はじめに

葛飾区は、江戸時代から昭和初期にかけて、唯一現存する堀切菖蒲園をはじめとして、小高園、四つ木園、吉野園に代表される菖蒲園や花木園が数多く存在し、四季折々に、江戸あるいは東京の人々に憩いと潤いをもたらす、水と緑の多い地域でありました。

しかし、残念ながらその後の日本の経済発展につれて、本区においても大都市東京の拡張に伴う都市化の進行により、時代の流れとともに次第に緑やオープンスペースが失われ、災害に対し脆弱なまちとなってしまいました。

緑とオープンスペースは、失われた市街地の自然環境を回復するとともに災害時の延焼防止や避難地等の防災機能を有しており、住宅や工場などが密集する都市においては欠くことのできない重要な要素です。

葛飾区は、これらの素晴らしい歴史と苦い経験をともに踏まえ、「水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち」の将来像の実現に向けて、各種の施策に取り組んでおりますが、このほど、区民や事業者と一体となった緑のまちづくりを推進するため、都市緑地保全法に基づく「緑とオープンスペース基本計画」を策定いたしました。

この計画は、平成32年を目指して、4つの基本方針と15の行動計画に取り組み、葛飾らしい緑のまちづくりの実現を骨子としています。また、区民の皆さんの公募によって決められた『すてきです！ せせらぎ やすらぎ 豊かな緑』を計画のキャッチフレーズとしています。

計画の策定に当たっては、区民代表や学識経験者による緑とオープンスペース基本計画策定委員会において、熱心にご議論いただくとともに、計画の素案を公表して、区民の皆さんにご意見をいただきました。

葛飾区といたしましては、この「緑とオープンスペース基本計画」を、21世紀の公園緑化行政の基本に据えて、事業を推進してまいりたいと考えております。

区民の皆さんをはじめ、多くの方々の積極的なご参加とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

平成11年6月

葛飾区長 青木 勇

目次

1	背景と目的	1
1-1	「緑とオープンスペース基本計画」とは	1
1-2	緑とオープンスペース	2
1-3	目的と位置づけ	5
2	現況と課題	7
2-1	都市の現況	7
2-2	緑とオープンスペースの現況	14
2-3	区民意向	24
2-4	解析・評価	29
2-5	緑とオープンスペースの課題	40
3	緑とオープンスペースの目標	44
3-1	基本理念	44
3-2	基本方針と将来像	45
3-3	計画フレームと目標水準	47
4	緑とオープンスペースの配置方針	50
4-1	水辺の環境を回復するための方針	50
4-2	災害に対する安全性を確保するための方針	53
4-3	身近なスポーツ・レクリエーションの場を形成するための方針	55
4-4	調和のとれた都市景観を形成するための方針	57
5	葛飾らしい緑とオープンスペースの形成に向けて	59
5-1	オープンスペースの整備方針と配置ツール	59
5-2	水と緑のネットワークの形成方針	72
5-3	緑化の推進方針	74
5-4	農地・樹林地等の保全方針	77
6	緑とオープンスペースに関する施策	81
6-1	施策の体系	81
6-2	実現のための施策の方針図	96
6-3	地区別方針図	98
6-4	緑化推進重点地区の設定	106
7	計画の実現に向けて	109
7-1	区民、事業者、行政の役割と連携	109
	資料編	111